

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

報道各位

2018年2月吉日

ROCK ICONS SUKITA X HARARI

鋤田 正義 / グイード・ハラリ

2018年3月29日（木）～ 5月20日（日）

1:00 P M～7:00 P M/休廊 月・火・水曜日/入場無料

ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 TEL 03-3714-0552

JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

ブリッツ・ギャラリーは、鋤田正義とグイード・ハラリによる20世紀ロックの伝説的ミュージシャンたちのポートレート写真展“ROCK ICONS(ロック・アイコンズ) / SUKITA X HARARI”を開催します。鋤田は日本、英国、米国、ハラリは欧州と活躍の地域は違うものの、70年代から90年代までの20世紀ロック黄金期のミュージシャンを撮影し続けてきました。多くの作品は、ミュージシャンとの信頼関係の中から生まれたコラボレーション作品。それらは単なるスナップではなく、アート作品としての評価されているポートレート写真です。二人は、撮影スタイルは違うものの、お互いの仕事をリスペクトする友人同士でもあります。ハラリはイタリアに写真ギャラリーを運営しており、鋤田正義の写真展も開催しています。ハラリは自作を、ロックの熱心なファンが多い日本で紹介されることを強く希望し、この度のブリッツでの二人展開催が実現しました。

本展で紹介されるミュージシャンは、鋤田が、デヴィッド・ボウイ、マーク・ボラン、デヴィッド・シルヴィアン、イギー・ポップ、YMO (イエロー・マジック・オーケストラ)、忌野清志郎、シーナ & ロケッツ、SUGIZO(スギゾー)など、ハラリが、ピーター・ガブリエル、ボブ・ディラン、トム・ウェイツ、ルー・リード、ローリー・アンダーソン、ボブ・マーレイ、エリック・クラプトン、パティ・スミス、ケイト・ブッシュ、イギー・ポップ、坂本龍一、ジョニー・ミッチェルなど。今は亡き、ボウイなどのミュージシャンの貴重な作品も多数含まれます。

本展では、モノクロ・カラーによる様々なサイズの作品約40点を展示する予定です。鋤田の作品には一部未発表作が含まれます。なお本展ではブリッツは19時まで営業、日曜日でもオープンします（月火水休廊）。

ぜひご高覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願いたします。

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

..... 2/2

鋤田正義 (Masayoshi Sukita) (1938-)

1938年福岡県生まれ。1970年からフリーとして活躍しています。特にデヴィッド・ボウイと深い親交があり、彼を約40年以上にわたり撮り続けました。

70年代のはじめ、鋤田は気鋭の若者文化や音楽に惹かれニューヨークやロンドンに撮影に出かけます。1972年の夏に T・レックスのマーク・ボランやボウイを撮影。1977年にはボウイのアルバム“ヒーローズ”のカバーを撮影、同作を鋤田は自身のベスト作品だと考えています。それ以降も、ドキュメンタリーからファッション、広告、映画、音楽まで幅広く活動。“氣 デヴィッド・ボウイ”、“David Bowie × Masayoshi Sukita Speed of Life”、“T.Rex 1972”、“YELLOW MAGIC ORCHESTRA × SUKITA”、“SOUL 忌野清志郎”他、多数の写真集を発表しています。

鋤田のボウイのイメージは、ヴィクトリア&アルバート美術館の訪問者数記録を塗り替えた“DAVID BOWIE is”展でも特集されています。同展は17年1月に東京にも巡回しています。2018年5月には、鋤田の軌跡をたどる初のドキュメンタリー映画“SUKITA”（刻まれたアーティストたちの一瞬）が公開されます。

グイド・ハラリ (Guido Harari) (1952-)

グイド・ハラリはイタリア人写真家。70年代初めにキャリアを開始し、ミュージック、ジャーナリストの仕事を中心に、ルポルタージュ、ファッション、広告、企業写真などにも幅広く取り組んでいます。

彼は、ケイト・ブッシュ、デヴィッド・クロスビー、ボブ・ディラン、B.B.キング、ポール・マッカートニー、マイケル・ナイマン、ルー・リード、シンプル・マインズ、フランク・ザッパなどの数多くのレコード・カバーのプロデュースを行ってきました。イタリアでは、アンドレア・ボチェッリ、パオロ・コンテ、マエストロ・リッカルド・ムーティとミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ルチアーノ・パヴァロッティ、PFMなどの主要な音楽スターたちとコラボしています。

彼の作品は、多くの美術館で展示されており、2016年にはノルウェイのロックヘイム美術館で回顧展“Wall Of Sound”が開催されています。

いままでに、Strange Angels (2003), The Beat Goes On with Fernanda Pivano (2004), Mia Martini. L'ultima occasione per vivere with Menico Caroli (2009), Tom Waits (2012), Vinicio Capossela (2012) などの写真集を出版しています。

2011年には、長年住んでいるイタリアのアルバで自らの音楽写真専門の Wall Of Sound ギャラリーをオープンしています。

以上

・お問い合わせ先 ブリッツ・ギャラリー TEL 03-3714-0552

写真展の情報・画像は http://www.artphoto-site.com/inf_press.html でご覧いただけます。